

3 なたね

(1) 国際的ななたね需給の概要

○2009/10年度のなたね需給（予測）のポイント

なたねの供給面では、カナダ、ウクライナ等で減少するものの、EU、中国等で増加することから、世界の生産量はわずかに増加が見込まれている。

需要面では、バイオディーゼル需要の拡大に伴い、EU、インド、カナダ等で搾油用需要を中心に世界の消費量は増加が見込まれている。

期末在庫量については、消費量が生産量を上回ることから在庫が取り崩され、期末在庫率も低下し、需給は再び引き締まると見込まれている。

【生産量】

生産量は、カナダ、ウクライナ等で減少するものの、EU、中国等で増加することから、世界全体では前年度より0.2百万トン増加（0.4%）し、58.1百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.3百万トン上方修正されており、国別にはEUで上方修正され、カナダで下方修正された。

【消費量】

消費量は、バイオディーゼル需要の増加に伴う油糧種子全般での需要増大により、EU、インド、カナダ等で搾油用を中心とした増加が見込まれ、世界全体では前年度より4.3百万トン増加（7.8%）し、58.6百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.4百万トン上方修正されており、国別にはEU、インドで上方修正され、カナダで下方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より2.7百万トン減少（▲22.2%）し、9.6百万トンとなる見込みである。

国別には、主要輸出国であるカナダ、ウクライナ等で生産量が減少することから、輸出量の減少が見込まれている。一方、輸入国では、アラブ首長国連邦等で増加するものの、中国で国内生産が増加することや、EUで国内生産の増加やウクライナからの輸出量の減少により、輸入量の減少が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、カナダ、米国の輸出量と米国の輸入量で下方修正され、ロシアの輸出量でわずかに上方修正された。

【期末在庫量】

期末在庫量は、消費量が生産量を上回ることから、カナダ、中国、インド等で取り崩され、世界全体では前年度より0.7百万トン減少（▲10.9%）し、6.2百万トンとなり、期末在庫率も10.6%まで低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.7百万トン上方修正されており、国別にはインド、EU、カナダ等で上方修正され、ロシアでわずかに下方修正された。

表－1 世界のなたね需給

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10 (単位:百万トン)		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	48.3	57.9	58.1	0.3	0.4
EU-27	18.4	18.9	21.2	0.6	12.2
中国	10.6	12.1	13.2	-	9.1
カナダ	9.5	12.6	10.2	▲0.3	▲19.0
インド	5.5	7.0	7.1	-	1.4
ウクライナ	1.1	2.9	1.9	-	▲34.5
豪州	1.1	1.7	1.7	-	1.2
ロシア	0.6	0.8	0.7	-	▲6.9
消費量	48.9	54.3	58.6	0.4	7.8
うち搾油用	46.5	51.9	55.7	0.4	7.4
EU-27	19.1	21.2	22.7	0.4	7.4
中国	11.4	13.7	14.2	-	3.0
インド	5.9	6.1	7.3	0.2	18.3
カナダ	4.3	4.5	5.1	▲0.2	11.9
日本	2.3	2.2	2.2	-	▲0.9
メキシコ	1.3	1.5	1.4	-	▲6.4
米国	1.1	1.2	1.2	-	▲0.6
貿易量	8.2	12.3	9.6	▲0.3	▲22.2
(輸出)					
カナダ	5.8	7.9	5.8	▲0.3	▲26.6
ウクライナ	0.9	2.6	1.6	-	▲38.6
豪州	0.5	1.1	1.1	-	0.0
米国	0.4	0.2	0.2	▲0.1	▲4.7
EU-27	0.4	0.1	0.4	-	257.1
ロシア	0.1	0.1	0.1	0.0	58.7
カザフスタン	0.1	0.0	0.1	-	136.4
(輸入)					
EU-27	0.7	3.3	1.9	-	▲43.1
日本	2.3	2.1	2.2	-	3.6
メキシコ	1.3	1.5	1.4	-	▲6.8
中国	0.8	3.0	0.8	-	▲75.3
アラブ首長国連邦	0.5	0.5	1.0	-	84.5
米国	0.9	0.8	0.7	▲0.1	▲9.2
パキスタン	0.5	0.4	0.6	-	57.5
期末在庫量	3.4	6.9	6.2	0.7	▲10.9
EU-27	1.0	1.9	2.0	0.2	0.8
カナダ	1.5	1.8	1.4	0.2	▲23.7
中国	0.0	1.4	1.2	0.1	▲14.3
インド	0.1	1.0	0.8	0.3	▲15.0
豪州	0.3	0.3	0.2	-	▲2.0
米国	0.2	0.2	0.2	-	5.9
ロシア	0.1	0.2	0.1	▲0.0	▲36.3
期末在庫率	7.1%	12.8%	10.6%	1.2	▲2.2

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、 「PS&D」

(2) なたねの主要生産・輸出国等の需給状況

ア カナダ

【需給状況】

カナダの生産量は、収穫面積や単収の減少により、前年度より2.4百万トン減少（▲19.0%）し、10.2百万トンとなる見込みである。

消費量は、新規工場の操業開始により搾油能力が拡大することで搾油用を中心に、前年度より0.6百万トン増加（11.9%）し、5.1百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の減少や消費量の増加で供給が減少することや、中国の輸入の減少等で、前年度より2.1百万トン減少（▲26.6%）し、5.8百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.4百万トン減少（▲23.7%）し、1.4百万トンとなり、期末在庫率も12.5%（1.8ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、単収の下方修正により生産量で0.3百万トン、消費量で0.2百万トン、輸出量で0.3百万トン下方修正された。この結果、期末在庫量で0.2百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

カナダのなたねは、9月初旬頃に収穫が始まったものの、10月中は雨がちな天候で収穫が遅れた。11月前半には天候が改善し、現在は概ね収穫が終了した。

イ 豪州

【需給状況】

豪州の生産量は、収穫面積や単収がわずかに増加し、前年度並みの1.7百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度並みの0.7百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度並みの1.1百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.1百万トン減少（▲2.0%）し、0.2百万トンとなり、期末在庫率も14.3%（0.4ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われなかった。

【生育進捗状況及び作柄】

豪州のなたねは、西豪州の一部地域で降雨不足があったものの、その後の天候で以前よりは作柄は回復したので平年を上回るが、前年度より単収の低下が予想される。また、8月まで降雨が少なかった同国東部のニューサウスウェールズ州等では9月上旬に降雨があり、乾燥による生育への影響が緩和された。なお、10月中旬頃に収穫が開始され、現在も収穫中である。

我が国の輸入先国シェア 1位（2008年数量ベース 95.5%）
世界の生産量シェア 3位（2009/10年度 17.6%）
輸出量シェア 1位（2009/10年度 60.5%）

表-2 カナダのなたね需給（市場年度：8月～翌年7月）

(単位:百万トン)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(AAFC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	9.5	12.6	10.2 (10.3)	▲ 0.3	▲ 19.0
消費量	4.3	4.5	5.1 (5.3)	▲ 0.2	11.9
うち搾油用	4.1	4.3	4.7 (…)	▲ 0.2	9.8
輸出量	5.8	7.9	5.8 (6.0)	▲ 0.3	▲ 26.6
輸入量	0.2	0.1	0.2 (0.2)	-	90.1
期末在庫量	1.5	1.8	1.4 (0.8)	0.2	▲ 23.7
期末在庫率	14.5%	14.3%	12.5% (6.6%)	2.3	▲ 1.8
(参考)					
収穫面積(百万ha)	6.23	6.49	6.20 (6.19)	-	▲ 4.5
単収(t/ha)	1.53	1.94	1.65 (1.66)	▲ 0.04	▲ 14.9

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
AAFC「Grains and Oilseeds (October 8, 2009)」

我が国の輸入先国シェア 2位（2008年数量ベース 4.5%）
世界の生産量シェア 6位（2009/10年度 3.0%）
輸出量シェア 3位（2009/10年度 11.0%）

表-3 豪州のなたね需給（市場年度：12月～翌年11月）

(単位:百万トン)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(ABARE)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	1.1	1.7	1.7 (1.7)	-	1.2
消費量	0.6	0.7	0.7 (0.7)	-	1.5
うち搾油用	0.6	0.6	0.7 (0.7)	-	1.6
輸出量	0.5	1.1	1.1 (0.9)	-	0.0
輸入量	…	…	… (…)	…	…
期末在庫量	0.3	0.3	0.2 (…)	-	▲ 2.0
期末在庫率	25.3%	14.7%	14.3% (…)	-	▲ 0.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)※	1.06	1.25	1.26 (1.26)	-	0.8
単収(t/ha)	1.00	1.36	1.37 (1.37)	-	0.7

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
ABARE「Australian crop report (15 September 2009)」(※ABAREは作付面積)

ウ EU-27

【需給状況】

EUの生産量は、穀物価格の低下傾向により、小麦からなたねへの転換が促進され収穫面積が増加することから、前年度より2.3百万トン増加（12.2%）し、21.2百万トンとなる見込みである。

消費量は、EUではなたねは主要な油糧種子であり、バイオディーゼル需要の増加などから搾油需要が増加し、前年度より1.5百万トン増加（7.4%）し、22.7百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より0.3百万トン増加（257.1%）し、0.4百万トンとなり、輸入量は国内生産の増加や主な輸入先のウクライナの輸出量の減少で、前年度より1.4百万トン減少（▲43.1%）し、1.9百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.1百万トン増加（0.8%）し、2.0百万トンとなり、期末在庫率は8.5%（0.7ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、収穫結果を反映して生産量で0.6百万トン、消費量で0.4百万トン上方修正された。この結果、期末在庫量で0.2百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

2010/11年度のなたねの作付けが開始されたが、フランスの主な産地では10月も乾燥状態が続き、発芽しなくて再作付けが行われた地域もある。なお、11月に入り降雨があり、土壌水分の補給となった。

エ 中国

【需給状況】

中国の生産量は、2008年に中国政府が農家収入を保障するために、市場価格より高く買い上げる政策を行ったことにより作付意欲が高まり、前年度より1.1百万トン増加（9.1%）し、13.2百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用需要を中心に前年度より0.5百万トン増加（3.0%）し、14.2百万トンとなる見込みである。

輸入量は、国内生産の増加で減少し、前年度より2.2百万トン減少（▲75.3%）し、0.8百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は0.2百万トン減少（▲14.3%）し、1.2百万トンとなり、期末在庫率は8.4%（1.7ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2008/09年度の輸入量で0.1百万トン上方修正されたので、2009/10年度の期首在庫量で0.1百万トン上方修正された。この結果、期末在庫量で0.1百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

2010/11年度のなたねの作付けは11月上旬で概ね終了した。

（世界の生産量シェア 1位（2009/10年度 36.5%）
輸入量シェア 2位（2009/10年度 19.8%））

表－4 EU-27のなたね需給（市場年度：7月～翌年6月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	18.4	18.9	21.2 (21.2)	0.6	12.2
消費量	19.1	21.2	22.7 (23.0)	0.4	7.4
うち搾油用	18.3	20.3	21.7 (22.0)	0.4	7.2
輸 出 量	0.4	0.1	0.4 (0.2)	-	257.1
輸 入 量	0.7	3.3	1.9 (1.8)	-	▲43.1
期末在庫量	1.0	1.9	2.0 (1.3)	0.2	0.8
期末在庫率	4.9%	9.1%	8.5% (5.7%)	0.7	▲0.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	6.55	6.25	6.55 (6.42)	0.02	4.8
単収(t/ha)	2.80	3.03	3.24 (3.30)	0.09	6.9

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (November 20, 2009)」

（世界の生産量シェア 2位（2009/10年度 22.7%）
輸入量シェア 6位（2009/10年度 7.8%））

表－5 中国のなたね需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	10.6	12.1	13.2 (12.8)	-	9.1
消費量	11.4	13.7	14.2 (…)	-	3.0
うち搾油用	10.9	13.2	13.6 (14.3)	-	2.7
輸 出 量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
輸 入 量	0.8	3.0	0.8 (1.8)	-	▲75.3
期末在庫量	0.0	1.4	1.2 (…)	0.1	▲14.3
期末在庫率	0.0%	10.1%	8.4% (…)	0.7	▲1.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	5.64	6.50	7.00 (7.18)	-	7.7
単収(t/ha)	1.87	1.86	1.89 (1.78)	-	1.6

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (November 20, 2009)」

オ インド

【需給状況】

インドの生産量は、単収が減少するものの収穫面積が増加する見込みであり、前年度より0.1百万トン増加（1.4%）し、7.1百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用を中心に前年度より1.2百万トン増加（18.3%）し、7.3百万トンとなる見込みである。

輸出货量、輸入力とも貿易の実績はほとんどない。

この結果、期末在庫量は前年度より0.2百万トン減少（▲15.0%）し、0.8百万トンとなり、期末在庫率は11.4%（4.5ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2008/09年度の消費量で0.5百万トン下方修正されたため、2009/10年度の期首在庫量で0.5百万トン上方修正され、消費量で0.2百万トン上方修正された。この結果、期末在庫量で0.3百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

インドのなたねは、例年9月ごろに作付けが開始されるが、主要生産地で土壌水分が不足したため、作付けが例年よりも遅れている。

（世界の生産量シェア 4位（2009/10年度 12.2%））

表－6 インドのなたね需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	5.5	7.0	7.1 (6.3)	-	1.4
消 費 量	5.9	6.1	7.3 (…)	0.2	18.3
うち搾油用	5.2	5.5	6.5 (5.9)	0.2	19.3
輸 出 量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	25.0
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	0.0
期末在庫量	0.1	1.0	0.8 (…)	0.3	▲ 15.0
期末在庫率	1.7%	15.9%	11.4% (…)	3.9	▲ 4.5
(参考)					
収穫面積(百万ha)	5.70	6.60	7.00 (6.40)	-	6.1
単収(t/ha)	0.96	1.06	1.01 (0.98)	-	▲ 4.7

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (November 20, 2009)」